

3/26 木曜



日本共産党の宮本徹衆院議員（前列右から5人目）ら野党国会議員に請願署名を提出する中央社保協の人たち=25日、衆院第1議員会館

中央社会保険推進協議会（中央社保協）は25日、「軍事費の拡大ではなく社会保障の拡充を求める」請願署名を提出する集会を衆院第1議員会館で開きました。第2次分の署名に、昨年の第一次分を合わせ、累計16万822人分を野党国会議員に手渡しました。

署名は、軍事費拡大ではなく社会保障の国民負担を軽減し、医療・介護・福祉・年金・生活保護などを拡充する」と、大企業と富裕層への課税を強化し、所得再分配機能をさせた格差と貧困をなくすことを求めていました。

会場からの発言で、金日本民医連の山本淑子事務局次長は、病院窓口で支払いができないために受診抑制して死亡した人の例などを紹介。「社会保障の削減、物価高騰の影響で命を失う事態になつて

## 中央社保協集会

**署名累計16万8206人分手渡す**

# 軍拡でなく社会保障に

いる」と告白しました。

金日本金管組合の増子監三中央執行委員会は、物価高騰のもと、多くの年金者から8万円の最低保障年金にしてほしいという声が

出でないと述べました。

中央社保協の林信悟事務局長は「引き続き署名を積み上げ、広げていこう」と行動提起しました。

集会には、日本共産

立憲民主党、社民党の国会議員が参加し、ありました。宮本徹議員は「国民の暮らし最優先の政治を切り替えるためをさせよう」と語りました。

出でないと述べました。

党の宮本徹衆院議員と立憲民主党、社民党の国会議員が参加し、ありました。宮本徹議員は「国民の暮らし最優先の政治を切り替えるためをさせよう」と語りました。

立憲民主党、社民党の国会議員が参加し、ありました。宮本徹議員は「国民の暮らし最優先の政治を切り替えるためをさせよう」と語りました。

立憲民主党、社民党の国会議員が参加し、ありました。宮本徹議員は「国民の暮らし最優先の政治を切り替えるためをさせよう」と語りました。

立憲民主党、社民党の国会議員が参加し、ありました。宮本徹議員は「国民の暮らし最優先の政治を切り替えるためをさせよう」と語りました。